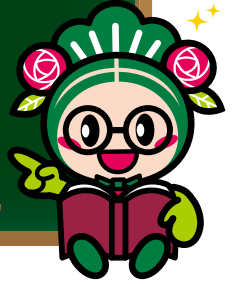


# マッキーの防災教室

## 第11回 「災害から子ども達を守るために」

皆さんこんにちは。今年は地震や豪雨、台風などにより日本各地で大きな被害が発生しました。自然災害は「どこか遠くで発生した大変な出来事」ではなくなってきています。もし明日大きな災害が発生したら？電気や、ガス、水道が使えない状況になったら？どういう行動をとればいいのか、家族で「防災」について話し合うことが一番の備えです。災害から家族、子どもたちを守るために何をすべきかをマッキーと一緒に勉強しましょう。



### 災害に備えて子どもたちとやっておくことって？

災害について子どもたちに伝えるときは、不安をあおることなく、子どもたちが楽しんでできるようクイズや物語にするなどして親子で楽しみながらできるように工夫しましょう。

#### □地震や、台風について子どもが理解しやすいように伝える

子どもが興味を持つように、絵本やぬいぐるみなどを用いて、楽しみながら伝えましょう。



防災ガイドマップなどを利用して住んでいる場所のリスクについても話しましょう。

#### □家から避難所までの経路を子どもと一緒に歩いて、危険な場所をチェックする

地震などで転倒危険のあるブロック塀など危険な場所は通らないよう子どもたちに教えましょう。

#### □家の中の危険な場所について子どもと相談しながら対策を行う

家具の転倒防止対策やガラスの飛散防止対策を行いましょう。普段から整理整頓することも重要です。

#### □子どもと一緒に必要な備蓄を行い、持ち出しができるようリュックなどにまとめて保管する

家族構成を考え7日分（最低3日分）を目安に備えましょう。子どもが好きなおもちゃやお菓子なども用意します。子どもは、好き嫌いが多いため、非常食も普段の食事に出すなどして、食べてくれる物を確認しておきましょう。

#### □被災した時をイメージして、子どもと試してみる

地震から身を守る行動を練習したり、電気やガス、水道を使用しない生活を子どもと試してみましょう。

#### □トイレの練習をしておく

災害発生時はトイレが問題となります。避難所などでは子どもたちが普段使用しない和式のトイレしかない場合もありますので、和式のトイレの使用について子どもと練習しておきましょう。

#### □行き先を確認する習慣をつけておく

子どもが外出するときは、行き先や誰と会うかなど、確認する習慣を身につけましょう。万が一のときの安否確認に役立ちます。

#### □地域の防災訓練に参加する

防災訓練は防災について子どもと一緒に学ぶ良い機会です。また、地域の人たちと顔の見える関係を作ることが災害から大切な命を守るためには重要となります。



### 小さな子どもと避難する時に注意することって？

台風や地震などの自然災害で、小さな子どもと避難するときには、子どもの安全を第一に考えて行動しましょう。

#### ●3歳ぐらまでは歩けても、抱っこ紐を使用して避難しましょう

ベビーカーは階段の上り下りや、瓦礫の散乱している道では押すことが困難となります。

また、歩かせた場合、転倒しけがをする可能性があります。抱っこ紐は、両手が使え、頭上の落下物からも子どもを守れるという利点があります。

#### ●子どものメンタルケアにも配慮しましょう

大人が混乱すると、子どもにその緊張感が伝わり、情緒不安定になりはぐれてしまうなどの原因にもなります。まずは大人が混乱せずに対処できる心の余裕を持てるよう、日頃から被災した時のイメージを持って備えましょう。

